

長崎県長崎市元町 第2 婦人防火クラブ

長崎県長崎市元町第2 婦人防火クラブ
会長 今道 喜久子



長崎市元町は、「坂の町長崎」に特有の、高台の斜面地で数多く住宅が立ち並んだ地区で、その地形の特性上、一旦火災が発生すると、被害が拡大する恐れがあることから、住民一人ひとりが非常に高い防火防災意識を持っています。

当クラブは結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもと、地区における防火防災の普及啓発活動のほか、長崎市が開催する出初式や式典等にも必ず参加しており、活動が活発なクラブです。

また、この地区では、周辺の婦人防火クラブや自治会、消防団及び消防局が参加する、大規模な合同訓練を毎年実施しています。その訓練では、今道会長をはじめとする「婦人防火クラブの女性が中心」となって、企画や、他団体との連絡調整などを率先して行っており、地区の方々からも「婦人防火クラブが頑張ってくれる

けんやか訓練ができる」と話されています。

高い防火防災意識を維持

するために大切なのは、

活動の「継続」です。「元町第2 婦人防火クラブ」は、地区の安心安全のため、日々の積極的な活動を「継続」して行っています。



埼玉県上尾市 泉台自主防災会

埼玉県上尾市泉台自主防災会
アドバイザー 田澤 六三



泉台自主防災会は上尾市の北西部にあり、会員世帯数約1,000世帯で、役員は自治会役員が兼ねています。水害の心配がない戸建住宅街なので地震・火災対策を重点に活動していますが、その中で特にご家庭向けの防火対策をご紹介します。

まず、家庭用消火器の購入助成です。2014年度の地元アンケート調査で普及率が65%止まりだったことから、100%を目指して独自予算で2015年度から10年計画の半額助成を開始。初年度は81件の申込があり、そのうち45件が使用期限切れとの交換で、ボロボロの古い消火器が6つも7つも出てきたのには驚きました。9年間で262個を助成したので、普及率はかなり向上したのと思われます。また法律で義務化されながら普及の進まない火災警報器の設置助成も独自予算で2017年度から開始し、7年間で111世帯・109個を助成しました。高齢世帯などで取付困難という場合は役員

が取り付けに伺ってたいへん喜ばれ、地域のコミュニケーションづくりにも役立っています。

なお、写真にある街頭消火器は地域内に23基設置済で、かつて1度ボヤの消火に使用されたことがあります。

まだまだ十分ではありませんが、今後も工夫していきたいと思っています。

